

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第3回研修を開催しました！

第3回の研修は、令和7年5月9日（金）と10日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて開催しました。

今回の研修では、土作り・肥料と、ピーマン、ナスの栽培についての講義を実施しました。

講義では、作物の生育を左右する重要な要素である土作りについて、物理性、生物性、化学性の3つのバランスが必要であることや、堆肥と肥料の必要性や種類などについて、指導員から解説しました。

休憩後の実習では、ピーマン、ナスの定植を実施しました。

ピーマン、ナスの栽培畦へ、施肥からマルチフィルムの敷設を受講生が手分けをして行い、ピーマン苗とナス苗を定植しました。農作業の経験者が多く、あっという間に作業を終えることができました。

その後、講義で触れた堆肥について、当研修ほ場において実施している残渣を活用した堆肥作り方法について、指導員から説明しました。

10日の土曜日コースの研修は、降雨のため、実習内容を変更し、実習ほ場のパイプハウス内においてトマトの定植を行いました。

本研修において、トマト栽培は養液隔離栽培を採用しており、初めて見る受講生も多く、興味深く設備を観察していました。

指導員から定植準備の説明のあと、隔離床へ白黒ダブルマルチの敷設と穴開けを行い、86本のトマト苗の定植しました。

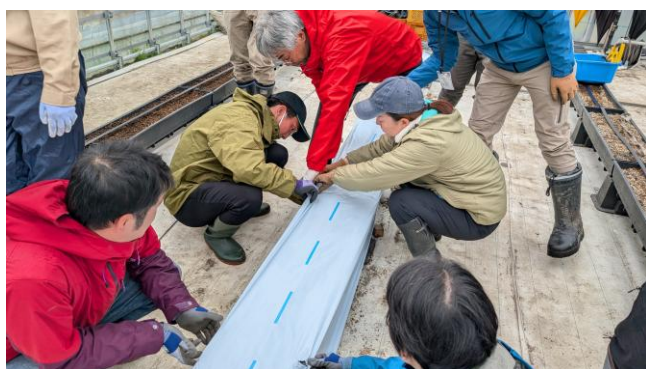
次回の第4回研修は、令和7年5月16日（金）及び17日（土）に、雫石町南畑コテージむらにおいて、「栽培管理①、マルチ」、「トマトの栽培」についての講義と、トマトの定植を実習で行う予定です。



講義「土作り・肥料について」の様子



ピーマンの苗を畦に定植する受講生



トマトの栽培槽に白黒ダブルマルチを敷設する受講生



トマト苗の定植の様子